



**mini book Hana**

森端穂 840円  
hana-mm@jd5.so-net.ne.jp

「心に花を」をテーマに音楽、ファッション、本…と毎号さまざまなテーマで、女の子が気になる情報を発信。岡尾美代子さんやクラムボン原田郁子さんといった豪華インタビューも見どころ。最新号「手紙の贈り物」特集では、北欧の可愛い街角ポストを探し歩いた「北欧ポスト紀行」など、久しぶりに手紙を送りたくなる内容に。



**いろは**  
いろは編集部 850円  
<http://www.kurageshorin.com/>

オンライン古書店「海月書林」の店主、市川慎子さんが中心になって発行している古本と雑貨の冊子。毎号、彼女が今行ってみよう場所、気になる人などを取り上げ、最新第4号は3月9日発行(840円)。ファッションデザイナー中林洋子さんの装幀や「草木屋」のつくるものを紹介。毎日を丁寧に暮らしたくなる、そんな気持ちにさせてくれる1冊。

**MINIBOOK REVUE**

カラーだったり白黒だったり、いずれも写真が活かされた素敵なミニブックばかり。日々の暮らしや旅を題材にしたもの、本誌でもお馴染みのクリエイターによる作品など全12冊を紹介。



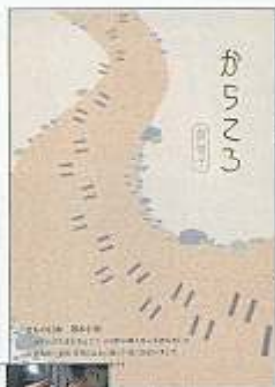
**日々**  
アトリエ・ヴィ 630円  
<http://www.ihibi.com>

編集者の高橋良枝さんを中心に料理家の飛田和緒さん、カメラマンの公文美和さん、スタイリストの久保百合子さんの4人で制作。毎日食べるごはんや器、雑貨、食材など「日々」の暮らしにまつわるさまざまなものごとを綴る。最新号となる第3号は3月9日に発行(700円)。飛田さんの「海辺の暮らし」を訪ね、逗子・葉山へ。



**からころ**  
工藤和香 700円  
<http://d.hatena.ne.jp/wkudoh/>

「カフェでのんびり読めるような着物の本を」。そんな想いから企画された「からころ」。着物が作られるところを見るために新潟県十日町を訪ねたり、西表島で機織りに挑戦したり…。柔らかな雰囲気の写真と丁寧に綴られた文章からは、着物に対する愛情がひしひしと。雑貨や本の紹介など、読み応えも十分。



**カナカナ 旅のミニブック**  
井岡美保 525円  
kanakana@m4.kcn.ne.jp

奈良にあるカフェ「カナカナ」の店主、井岡美保さんの「旅のミニブック」シリーズは、雑貨の買い付けで海外に行った時に感じたことや、買って来た雑貨の紹介などを手のひらサイズの本に記録。最新号のストックホルムのほか、パリ、アムステルダムなど、どこを読んでも行きたくくなるような、魅力的な言葉と写真で綴られている。



**てくり**  
まちの編集室 500円  
<http://www.tekuri.net>

「盛岡に暮らす人の物語をてくりてくり、と歩く速度で丁寧に」。そんな想いが込められた「てくり」。第2号は「メイド・イン・モリオカ。」と題し、ホームスパンを営む中村工房を訪ねる。さらに盛岡を代表するバー、パロンの特集では、味のある写真と綴られた一言一言に、この町の歴史と文化を気づかされる。

